

ニュージーランドに留学してから3週間が経ちました。思っていた以上にニュージーランドの生活に慣れるのが大変で、あっという間の3週間でした。ニュージーランドでの生活は毎日が新しい発見の連続で、例えば、ニュージーランドでは裸足で道を歩く人がいたり、雪が降ったら授業中にもかかわらず外に出て行ったり、3週間生活してみて、「国ごとにこんなに習慣や文化・生活が違うんだあ。この国はとても面白い国だ。」と思いました。まず、私がニュージーランドに来て驚いたことは、雪が降っていたことです。ニュージーランドは南半球に位置しているので、季節が逆なのは当たり前ですが、日本は真夏なのに、ここは雪が降っていて、「自分はニュージーランドに来たんだなあ。」と改めて実感させられる出来事でした。

私が今通っている、ダーフィールドハイスクールには日本の学校とは違う所がたくさんありました。まず、私が驚いたのは、校舎の造りです。日本の校舎のような一つの建物ではなく、教室ごとが一つの建物になっている感じで、初めて学校へ行った時は驚きました。ダーフィールドハイスクールは生徒数が900人で、湧別中学校に比べるととても多いです。ダーフィールドハイスクールには留学生のための特別な授業「ESOL」があり、そこでは日本だけではなく、韓国、チリ、タイ、ドイツなどの様々な国の人たちが来ていて、ニュージーランドのことだけではなく、他の国のことも学べるので、とても楽しいです。この授業では英語を教えてくれるので、ニュージーランドに来た最初るときよりも人の話していることが聞き取れるようになりました。

ホストファミリーのウィルソン一家は、とても自分に親切にしてくれているので、とても感謝しています。ホストファミリーの家でも驚くことはたくさんありました。例えば、食器を洗う時に洗剤を流さずにそのまま拭いてしまったりしていて、日本に住んでいてはとても考えられないことばかりです。ホストファミリーとは日本のことについて話をしたり、ゲームをしたり、週末はロッククライミングやプール、射撃などたくさんの楽しい所へ連れて行ってくれます。

時には英語が通じなくて困ったり、うまく英語が聞き取れず困ったりすることもあります。帰町した時にみなさんにニュージーランドでの経験をしっかりと伝えられるように、残りの約1ヵ月を精一杯がんばって過ごしたいと思います。

「NZ で学んだこと」

湧別中学校 2年 工藤 柊翔

私がこの交換留学に参加しようと思ったのは昨年、カナダへ2週間の短期留学に行って英語とコミュニケーション能力の必要性を強く感じたからです。今回は長期の交換留学ということで、4ヶ月の間、英語を強く意識した生活をしてみたいと思いました。

ハナコがいた2ヶ月間は、家族、学校、友達、役場の人達のサポートを受けて楽しく過ぎて行きました。

私には渡航するにあたり不安なことが2つありました。それは、中学校での授業の遅れや、テストを受けられないという事でしたが、渡航前に何度も先生達と話し合っ対策をとっていただきました。もう一つは部活です。私にとって部活は勉強と同じく大きな問題でしたが、NZのバスケットチームに参加させてもらう事ができ学ぶ事がたくさんありました。

ホストファミリーのウィルソン一家は、ハナコ、両親、兄妹の5人家族でした。渡航前からメールやスカイプで交流していたので、すぐに家族と仲良くなりました。とても温かく優しい家族です。私も家事を手伝ったりしてNZの日常生活を体験しました。

休日は旅行やロッククライミング、プール、銃を撃ちに行ったりアクティブに過ごしました。

学校では日本との違いに驚きました。校内では、フリーWifiが使えます。休み時間にはティータイムがあり、お菓子を食べます。とても自由な雰囲気ですが、彼らは授業も自分で選択し自己管理をしていて責任を持って行動しているように感じました。私も授業を選択しました。ESOLという留学生の為の授業では、様々な国の留学生がいて異文化を知る事ができました。

体育はスキーを選び日本の真夏に南半球の真冬を体験することができました。

この留学では様々な場面で大変なこともありましたが、今までの私の生活では不自由が無く、孤独と向き合う事はなかったけれど、大きな成長の為には自分の内面と向き合う時間がとても重要だと感じました。私は、たくさんの人に支えられているという事を知りました。一度もホームシックにならなかったのもNZの人の優しさに支えられた事、私のホームである家庭、学校、友達、全てが揺るぎない存在で私の帰る場所は変わらずにあるという自信が持てたからです。

この素晴らしい経験をさせてくれた全ての人に感謝の心を忘れず、私のこれからに活かして行きたいです。